

第二戸越幹線整備工事（上流部）について

1. 目的

本事業は、浸水被害が発生している戸越・西品川地区において、下水道幹線を整備することにより、1時間50ミリの降雨に対応する浸水対策を実現することを目的としている。併せて既存貯留施設を活用することにより、1時間50ミリを超える降雨に対しても浸水被害を軽減させる。

<全体平面図>



2. 工事概要（裏面参照）

現在、西品川公園に立坑を施工中であり、引き続き、三ツ木通り、戸越銀座通りの下に内径3.5m、延長約1.7kmの下水道管を整備する。

また、浸水対策効果を早期に発現させるため、宮前坂広場付近に暫定貯留施設（約200m³）を整備する。

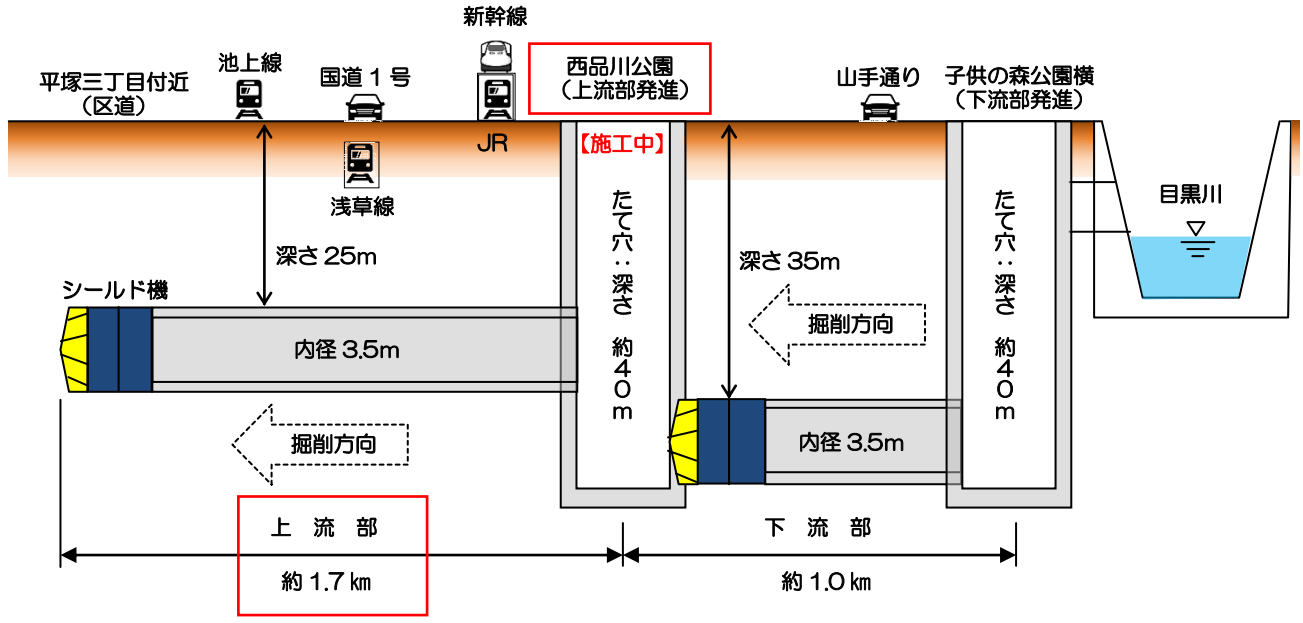
3. スケジュール（予定）

平成29年12月～平成32年6月	立坑工（西品川公園）	【施工中】
平成30年12月～平成32年3月	暫定貯留工（宮前坂広場）	【新規】
平成32年4月～平成33年8月	シールド工	【新規】

※全体事業完了見込 平成36年度

◆立坑工・シールド工概要

西品川公園に施工中の立坑から平塚三丁目付近まで、雨水を流す下水道管をシールド工法で整備する。



◆暫定貯留工概要

宮前坂広場に、大雨時に雨水を一時的に溜める貯留施設として立坑を整備する。将来、立坑は第二戸越幹線と接続し、雨水を目黒川へ放流する取水マンホールとなる。

